

解決すべき課題と提案募集方式の活用

①全交通モードが連携して交通充足エリアの創造

②企画商品や時間帯による運賃・損保の弾力的運用

③地域特性(積雪・凍結)による専用バスレーンの設置

企画商品や時間帯による 運賃の弾力的運用

必要!



次は	益野					終点
0	1	2	3	4	5	西大寺
400	380	380	330	320	300	
6	7	8	9	10	11	西大寺中央病院前
280	260	240	220	200	170	
12	13	14	15	16	17	松崎
170	170					Matsuzaki
18	19	20	21	22	23	益野
						Masuno

小学生以下のお客様は半額(10円未満は切り上げ) 西備バス

企画商品による

損害保険の弾力的運用

必要!



解決すべき課題と提案募集方式の活用

①全交通モードが連携して交通充足エリアの創造

②企画商品や時間帯による運賃・損保の弾力的運用

③地域特性(積雪・凍結)による専用バスレーンの設置

冬期間のみ、自家用車の
渋滞で、バスが大幅遅延

実態！



夏だけでは習慣にならず
バス利用にはつながらない

心理！

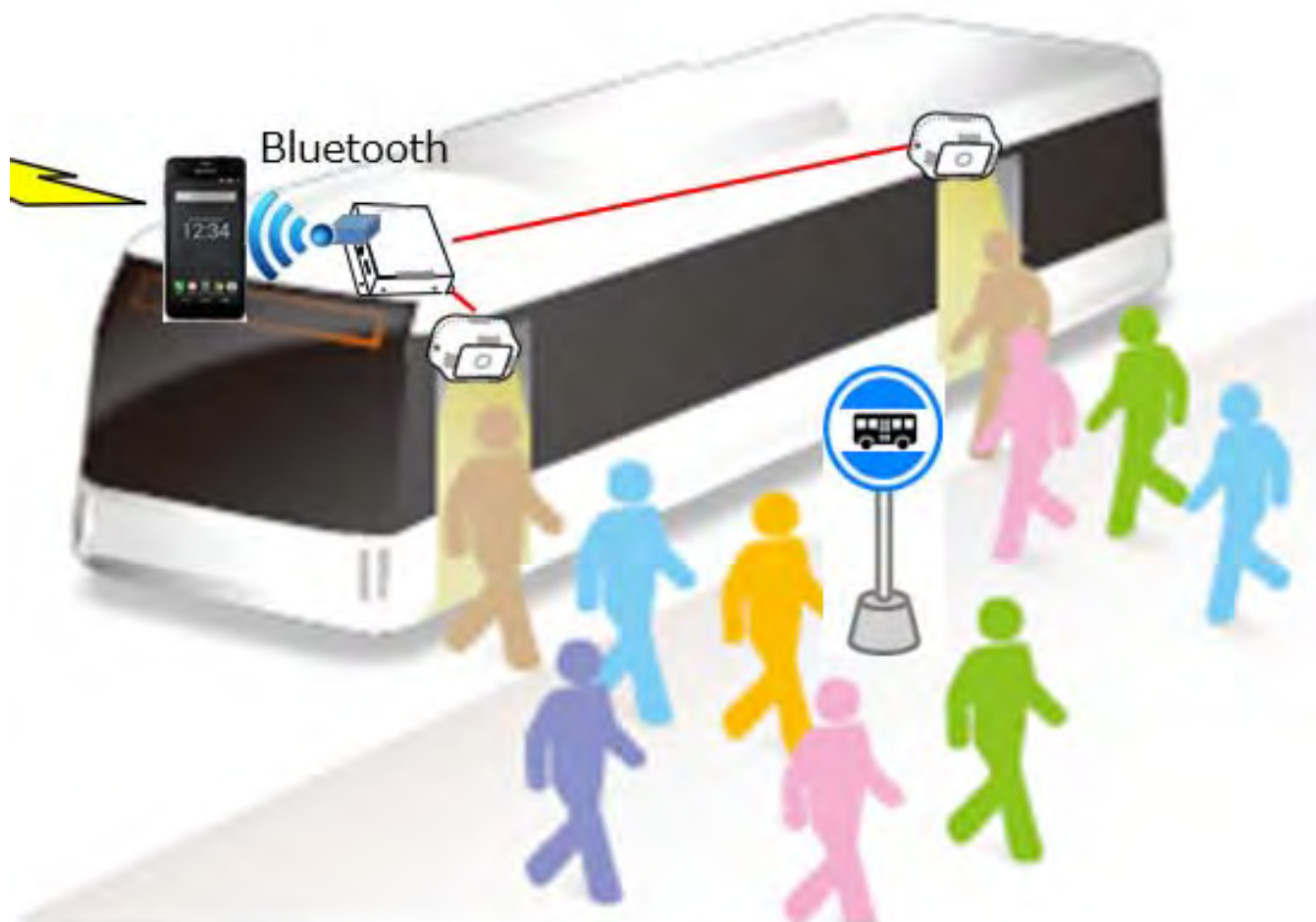


解決すべき課題と提案募集方式の活用

- ①全交通モードが連携して交通充足エリアの創造
- ②企画商品や時間帯による運賃・損保の弾力的運用
- ③地域特性(積雪・凍結)による専用バスレーンの設置
- ④マーケティングのための顔認証センサーの許可

マーケティングのための 顔認証センサーの許可

挑戦！



解決すべき課題と提案募集方式の活用

- ①地方分権改革モデル「貨客混載」は将来拡大
- ②地方の現場では目の前の課題解決が優先と考える
- ③目の前の課題解決が興味を呼び発意が生まれる
- ④長期的と短期的な視点の両方の課題解決が必要

地方分権改革シンポジウム

地方の提案で国の制度が変わる

「パネルディスカッション」

提案募集方式による地方分権改革の成果と展開

～ 十勝バスの40年ぶりの利用者増加の取組みより ～

ご清聴、ありがとうございました

十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾